

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

少子化時代の豊かな学び推進事業

事業の経過・背景・課題

少子化の進行により学校の統廃合が進む中で、地域の歴史や文化を系統的に学ぶ「ふるさとみやづ学」を推進し、地域住民との連携による体験学習を充実させ、地域と共に学び成長する子どもを育成する。

取組内容

交付実績額： 493 千円

○ふるさとの歴史や文化を学ぶ体験学習「ふるさとみやづ学」を推進

〔子ども学芸員養成講座「Kids学芸員養成塾」〕

- ・宮津市歴史資料館において、全4回の子ども学芸員養成講座「Kids学芸員養成塾」を開催し、資料の調査や展示など学芸員の仕事体験をととして、資料館の役割や機能を学ぶ
- ・体験内容
 - 1日目：展示室のほか、普段は入れない資料館の裏側見学
 - 2日目：文書や掛軸、土器などの考古資料に触れて本格的な資料調査を体験
 - 3日目：日本遺産に認定された北前船の寄港地をオンラインで結び、北前船について勉強した後、宮津に伝わる北前船をテーマとした展示を企画
- 最終日：体験をとした展示資料の解説パネルを作成し、展示

〔デジタル副読本の作成・4小学校連携事業〕

- ・「ふるさとみやづ学」に活用する社会科副読本をデジタル化し、ICTによるさらなる探究的な学びを支援
- ・地域の文化財所有者や丹後郷土資料館と連携した課題解決型学習の実践や小学校の児童生徒がそれぞれの学習の成果を交流する「4小学校連携事業」の実施

子ども学芸員養成講座「Kids学芸員養成塾」の様子



▶資料館見学



▶資料調査



▶レイアウト相談



▶展示レイアウト作業



▶キャプション作成



事業の成果・今後の展望等

「Kids学芸員養成塾」では、総合的な学習の時間に学んだ北前船について、実際の古文書や資料に触れて展示をつくるという体験を通して、ふるさとにまつわる歴史や文化を深く学ぶ機会となり、地域への愛着や誇りの醸成につながった。

引き続き、デジタル副読本の活用により子どもから大人まで広く「ふるさとみやづ学」の推進を図るとともに、小規模校の交流・連携を進め、中学校への円滑な接続と集団での学習機会を確保する。

問い合わせ先

宮津市教育委員会学校教育課（0772-45-1641）